

町田市地域経営ビジョン2030～協働による地域社会づくり推進計画～の概要

I 策定の趣旨

①背景・目的

社会の変化(人口減少や超高齢化など)や国・都の動向においても、多様な主体が連携を図りながら、地域課題の解決を図ることが求められています。本ビジョンでは、地域の力を結集して地域の課題解決にあたるため、地域と市が共有するビジョンを定め、その実現に向けて主な取組みについて明示することを目的としています。

②位置付け

町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の「地域社会づくりを基本とするまちづくりプロジェクト」により、2012年度に『協働による地域社会づくり』推進方針、2013年度に『協働による地域社会づくり』推進計画を策定しました。本ビジョンは、「推進方針」をふまえたもので、「推進計画」の後継となるものです。

「地域経営」とは

地域と市が力を合わせ、
地域資源を活用して、未
来へと続く地域をつくりあ
げていくこと

③期間

ビジョンは2030年の姿を想定しています。ビジョンの実現に向け、2017年度から2021年度までの当面の5年間を計画期間としています。

II これまでの成果と今後の方向性

地域社会づくりの中核となる「地区協議会」と市の推進体制について策定し推進してきました。

成果

今後の方向性

地区協議会の設立支援	2016年度までに10地区中9地区が設立された	全地区設立に向けて引き続き働きかけを行う
地区協議会の運営支援	地域のつながりを重視した運営支援を行った	地区の中核となるように引き続き支援を行う
地区連携調整会議の実施	地域やテーマごとの情報交換会を実施した	新たな連携促進の体制作りに取り組む
地区担当職員の配置	地区協議会支援、各部署の連絡調整を担った	行政部署間の連携に重点的に取り組む
地域活動室の設置	市民センターなどに活動拠点を確保した	引き続き活動拠点の確保を行う
地域予算の活用	地域の課題を解決する活動につながった	引き続き資金面での支援を行う

III 地域のいま

①地域社会の状況

少子高齢化に伴う人口構成の変化/減り続ける町内会・自治会への加入率/NPO法人数の増加/地域・市民活動参加者の伸び悩み/かげりのみえる商業

②地域が抱える課題

推進計画、地域社会の状況や各ワークショップの意見をふまえ、課題を3つにまとめました。

地域社会への意識醸成

地域社会への愛着の薄れや関心の低さにより、担い手が不足している。地域住民や行政職員が、地域のことを「自分ごと」として認識し、新たな視点で考え行動していくことが必要である。

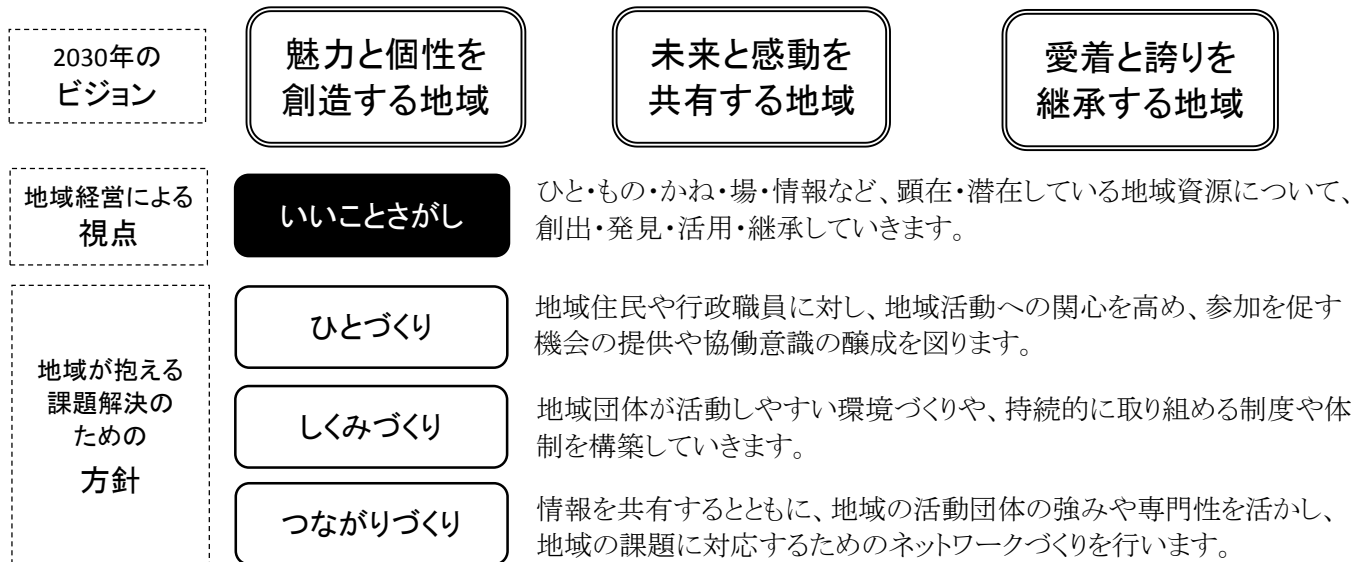
地域団体支援の充実

地域団体も高齢化・固定化しており、活動の持続・展開が難しくなっている。地域の魅力を高めるため、ニーズ、組織規模や活動状況に合わせた柔軟な支援が求められている。

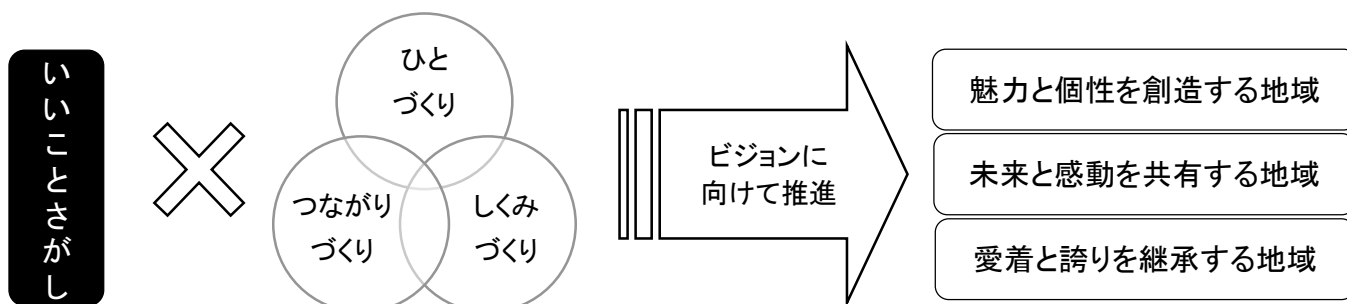
地域内連携の推進

地域における様々な役割が一部の人に集中しており負担感が大きい。地域団体の強みや特性を生かしたネットワークを構築し、地域が一体となって未来をつくることが重要である。

IV ビジョン実現に向けて



「いいことさがし」の視点と3つの方針に基づき、2030年のビジョンに向けて推進していきます。



V 推進するための取組み

ビジョンを実現するために、地域団体、地区協議会、行政ごとに、以下の三つを重点事業として取組みを展開していきます。

	地域団体への 支援体制の創設	地区協議会への 支援の充実	行政部署間の 連携の充実
概要	地域活動に関わるきっかけづくり、地域活動への支援、地域資源の活用促進、ネットワーク化の推進や活動に関する情報収集・発信など、地域の活動団体への支援体制を創設する。	全地区設置に向けて働きかけるとともに、地区協議会が地区の中核を担う組織となるように、地域おうえんコーディネーターを中心に支援を行っていく。あわせて、活動の「魅せる化」を推進する。	各地区や行政各部署の情報・データについて集約・分析を行うとともに、連携を促進する体制を整える。また、協働促進のためのチームを立ち上げ、協働に関する情報を積極的に発信する。